

第25回  
福岡県  
美しいまちづくり  
建築賞

the  
25th.  
fukuoka  
prefecture  
/  
architectural  
award  
for  
artistic  
urban  
design

2012

the  
25th.  
fukuoka  
prefecture  
/  
architectural  
award  
for  
artistic  
urban  
design

本県では、県民一人ひとりが福岡県に生まれ、生活してよかつたと実感できる「県民幸福度日本一」を目指し、地域社会の再生に取り組んでおり、県民生活の「安定」「安全」「安心」の向上に向け、各種施策を展開しています。

その施策の取組方針のひとつに、「環境と調和し、快適に暮らせること」を掲げ、美しいまちづくりの推進に取り組んでおり、その一環として、「福岡県美しいまちづくり建築賞」を設けております。

本賞は、国際居住年(昭和62年)を契機に「福岡県建築住宅文化賞」として創設したもので、個性豊かで美しく良好な景観形成に寄与しているとともに、建築計画において特に優れた建築物を表彰するものです。県民の皆様が、「建築」や「まちづくり」について考える契機になり、また、県内の建築生産に携わる皆様の意欲向上につながることを期待するものです。

県民の皆さんや事業者の方々の美しいまちづくりへのご理解により、今年度で25回目を迎えることができました。ここに深く感謝申し上げます。

その四半世紀の節目となる今年度は、例年を上回る応募があり、選考委員会の厳正な審査のもと、住宅の部・一般建築の部より6作品が選定されました。

受賞作品は、いずれも、周囲の景観形成に資するとともに、建築文化を次代に継承していくすばらしい作品となっております。

今後も、魅力ある景観形成に貢献する優れた建築物を表彰し、広く県民に紹介していくことで、地域への愛着や誇りを育み、快適で質の高い生活環境を生み出す原動力となるようにより一層美しいまちづくりの推進に取り組んでまいります。どうか皆様にも更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、選考委員会の各委員をはじめ関係者の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者並びに応募者の皆様の今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

## 総評

福岡県美しいまちづくり建築賞選考委員会 委員長

近畿大学 産業理工学部建築・デザイン学科教授

工藤卓

福岡県美しいまちづくり建築賞は本年度で第25回となる。創設された1988(昭和63)年度の第1回福岡県建築住宅文化賞は、「北九州市立美術館」が受賞している。それから四半世紀を継続してきた意義は大きく、福岡県の優れた建築作品を表彰する制度として、今後のさらなる発展が期待される。

本年度の応募総数は90作品であったが、辞退と対象外を除いた審査対象は85点であった。内訳は、住宅の部40、一般建築の部45である。地域別には、福岡地域49、北九州地域18、筑豊地域8、筑後地域10である。例年に比べやや増加傾向にあったが、そのなかでも福岡地域からの応募増数が目立っている。

第一次選考は9月19日に、10名で構成する選考委員会によって応募書類審査が行われ、慎重な審議と投票によって8作品を現地審査対象作品に選出した。

第2次選考は、11月5日に住宅の部の4作品、11月19日に一般建築の部4作品の現地審査を行っている。現地では、建築の機能、材料、意匠、技術、さらに、都市あるいは地域への景観的貢献度などについて、建て主、設計者、施工者の3者立ち会いのプレゼンテーションを受けて行われた。

最終選考は、現地審査最終日に選考委員会での多数評価の投票によって行われた。その結果、住宅の部と一般建築の部それぞれに、福岡県知事表彰の大賞および優秀賞を各1点、福岡県建築都市部長表彰の奨励賞2点を選出した。表彰は、建て主、設計者、施工者の3者に対して行われる。今回は偶然にも、大賞受賞2作品が、伝統的な格子を外観の主要素として意匠に用いていることも付け加えておく。

住宅の部の大賞受賞作品「四季の家」は、森林公園を眺望する恵まれた敷地環境と調和した、品格のある景観形成が評価された。この土地を選んだ建て主の見立てに応じて、四季の風景を取り込むために工夫した細部意匠に、建築家の優れた創造力を感じる作品であった。

優秀賞受賞作品「小倉の家」は足立山を借景とする回遊式庭園のように、内外空間が連続する楽しさが評価された。前面道路に接する駐車場は地域の景観形成に良い影響を与えているとともに、コンクリートの施工も丁寧な作品であった。

奨励賞受賞作品「地中の棲処」は、急斜面地を斬新な住み処に変えた、建て主、設計者、施工者の共同の住宅づくりが評価された。眺望はもちろんのこと、半地下の土足生活や屋上庭園の利用などの新しいライフスタイルと子育ての楽しさが伝わってくる作品であった。

「小笹の家」は、惜しくも三賞には入らなかったが、白くシンプルでモダンな室内と水盤のある中庭との融合が魅力的な美しい作品である。崖地擁壁の処理などにも高い技術的工夫が見られた。

一般建築の部の大賞受賞作品「料亭 嵯峨野」は、木の匠による純和風の建築空間が展開されていて、審査委員が異口同音にその数寄屋特有の伝統的建築文化を評価したものである。また、この作品は、第25回を数える本賞で初めての純和風建築の受賞となり、設計の技能と職人の技を継承していくうえで大きな意義を持つことになる。

優秀賞受賞作品「中村学園女子中学校・高等学校」は、創立以来の教育方針を活かした建築計画が評価された。実学教育のシンボル「調理示範室」は視察できず残念だったが、建築の内外ともに女子校ならではの清潔感と透明感のある魅力的な建築環境が創造されていた。

奨励賞受賞作品「和白青松園」は、100人の児童生徒が分棟ユニットで暮らす小舎制を採用した建て替えの建築計画が評価された。戦後まもなく創園された時からの松林の環境活用や、桜並木を残すランドスケープ計画にも優れ、近隣との交流も続いているという。

「キャナルシティ博多 イーストビル」は、博多駅からの軸線を取り込んだ都市的スケールと、壁面緑化の建築的スケールが一つにまとまった建築的魅力がある作品であった。しかし商業ビルの壁面緑化が果たす都市環境形成の役割や美観の点で、委員会の評価が惜しくも分かれた。

住宅の部

四季の家

所在地：宗像市



撮影：石井紀久



撮影：石井紀久



撮影：石井紀久

## 設計者

株式会社松山建築設計室 松山将勝  
〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前4-25-14ヒロビル8F  
TEL 092-433-1128  
URL <http://www.matsuyama-a.co.jp/>

## 建築主

個人

## 施工者

株式会社イコーハウス 井藤俊二

## 用途

一戸建ての住宅

## 構造規模

鉄筋コンクリート造一部木造地上1階地下1階建て

## 設計趣旨

四季の家は、自然林で形成する森林公園を望む閑静な住宅街に位置しており、遠方でひとり暮らしをされている母との同居を願った二世帯住宅である。

道路との高低差を持つ敷地の特性を活かしながら、この場所の豊かな自然環境との調和を目指して、建築は可能な限り後方に配置し前面道路側には丘状の植栽帯を設けている。その行為によって私的な場所は都市側へと大きく開放され、前面の森林公園が拡張するような環境をつくりだしている。

建築は主構造を木造とし、縁側や格子といった日本特有の空間や素材によって低層で構成され、二世帯の住居から自然林の風景を室内に取り込む。四季の移ろいを感じながら自然と共にご家族の暮らしが豊かに育まれている。



撮影：石井紀久

## 講評

雑木林が広がる公園を俯瞰する眺望開放型の断面設計に優れていて、建て主の長年の土地探しに応えた知的趣味が漂う住宅である。法面を活かして敷地に埋め込むように造られた駐車場と、その上に載る居住部を道路から大きく後退させた配置計画は、郊外住宅地の景観づくりに対して新鮮な提案性を持っている。

コンクリート、石、木材、ガラスを用いた表現は洗練されていて、これらの素材感を引き立てた意匠は、設計者と施工者の一致した協力によって造り出されたものであろう。家具調度や壁面を飾る絵画は建て主によって吟味され、心地よい居住性を演出している。母の部屋は敷地幅を利用して、あえて独立性を高めて区画している。外部から見ると、その居住部は木製の細目格子によって閉じているが、内側に土間を内包することで、伝統的町家のような落ち着いたたたずまいとなっている。母と暮らす二世帯住宅を造るための土地の選択と、周到的な建築計画が結実した秀逸な作品である。



撮影：石井紀久



撮影：石井紀久

一般建築の部  
料亭 嵯峨野  
所在地：福岡市博多区



## 設計者

暮らし十職一級建築士事務所 前田伸治

〒364-0024

埼玉県北本市石戸4-181

TEL 048-592-6662

URL <http://www.kurashijishshoku.jp/>

## 建築主

料亭 嵯峨野 藤井春奈子

## 施工者

株式会社淺沼組九州支店 執行役員支店長 田島茂文

## 用途

飲食店(料亭)

## 構造規模

鉄骨造2階建て

## 設計趣旨

老朽化した料亭の建て替えである。これまで培った伝統と、衣食住を統合した日本文化を根底に、現代に生きづく日本を発信しようと再建への指針とした。

建物は佇まいから伺える日本の良き姿を求め、川沿いの修景にも配慮した。内部は大小の座敷しんぶつぞうを真行草まゆくさで纏め、川沿いの立地を生かし、座敷各所から川が望める工夫をしている。塀の下を穿つたのは、座った視点で川面を見せるためである。

料亭の存在意義を問い直し、高いプライバシーの確保と幅広い活動への提供という、相反する課題も克服している。

派手な意匠に依らず、研ぎ澄まされた造形を探索することで、銘木珍木めいぼくちんぼくに頼らない構成を目指した。料亭という日本を、伝統を規範に、現代の創造で応えた。



## 講評

現代都市では得難くなった伝統的な数寄屋建築の趣を基本に創りあげた純和風建築である。

住吉神社界隈と那珂川沿いの花柳界かりやうかいの歴史的空間に相応しい建築文化が再生されたインパクトがある。老朽化した料亭の建て替えを機に、老舗が培ってきた伝統文化を忠実に守り伝えようと挑戦した建て主、設計者、施工者の共同の創作が、第一に評価されるべきものであろう。

選び抜かれた青森杉をふんだんに用い、呼び集められた地元大工が伝統の技を駆使して創る、柱、長押、床の間、欄間、障子、襖、そして畳が敷き詰められたこの典型的な日本座敷の美学は、川面の景観と一体になって見るものを楽しませてくれる。

伝統的な和風住宅が少なくなり、忘れかけている上質の座敷空間の生活作法を思い起こすことができるオアシスとして、われわれはこの作品に共感を覚えるのである。

那珂川に架かる住吉橋と柳橋を挟む対岸の老舗三光園と相俟って、土地の歴史性と職人の優れた技術を未来に向かって継承して欲しい文化的意義を感じる建築である。



## 住宅の部

小倉の家

所在地：北九州市小倉北区

## 設計者

株式会社ブラックステューディオ 代表取締役 黒田克樹

〒805-0009

北九州市八幡東区宮田町2-9

TEL 093-681-5151

URL <http://www.blacks.co.jp/>

## 建築主

個人

## 施工者

株式会社三木建設 代表取締役 三木忠文

## 用途

一戸建ての住宅

## 構造規模

鉄筋コンクリート造2階建て

## 設計趣旨

日本人の美意識の一つ「奥性」<sup>おくせい</sup>、「奥ゆかしさ」を空間的に表現しようと試みた。

一瞥<sup>いちべつ</sup>で全体構成を理解するのではなく、人の移動に沿って様々なシーンが展開していき、期待感を伴って空間がつながっていく。

道路に面した構えは控えめで寡黙な表情であるが、他者を拒絶するのではなくやわらかく対峙する。道路側に突き出たテラスの下は駐車場であると同時に、近隣の子供たちに格好の遊び場を提供する。

外観はコンクリート打放しと光触媒塗装の白によるコントラストが印象的である。

「居間」を南の「庭」と北の「前庭」がはさみ込む。「外-内-外」の三者が一体となって空間に奥行きを与え、生活の場を豊かにする。

## 講評

建築家にとって自邸は設計提案の実験場である。ここでは、駐車場、中庭、和室、そしてコンクリート施工にその実験的解決が試みられている。地域の路の景観は、駐車場の造形がその善し悪しを決定づけていると云っても過言ではない。この駐車場は、車の駐車時あるいは空車時のいずれであっても、周囲の景観に良好な影響を与えるように計画されている。

6ヶ所に散在させた中庭は、伝統的な町家の庭に似て、観賞の対象であると同時に敷地の気候調整装置ともなっている。

また、それぞれの庭を巡る内外の回遊性も計画されるなど、子供の成長にとっても刺激的な空間づくりが展開されている。和室は、コンクリート構造に木造の入れ子がしつらえられ、融通性の高い使い方ができる。

総じて、足立山を借景とする四季の庭を楽しむ家族の親密さが伝わってくる住宅である。これらの印象は、打ち放しコンクリートの精度の高さと断熱施工の丁寧さから生まれていることも付け加えておきたい。





# 優秀賞

## 一般建築の部

中村学園女子中学校・高等学校  
所在地：福岡市城南区

## 設計趣旨

福岡市城南区鳥飼に位置する、中村女子高等学校の新校舎である。既存の中学校校舎は残しながら老朽化した高校校舎を建て替え、グラウンドを整備することでキャンパス全体を一新した。

メインアプローチには、中村学園の伝統と創始者の情熱を体現した構成として、講堂と示範室を象徴的に配置している。

校舎の2階には、学校のシンボルである水仙の名を冠した人工地盤「水仙の丘」を設け、生徒は「水仙の丘」から、来客や教職員は1階の正面玄関から出入りできるよう動線を分離した。普通教室は、「水仙の丘」の上、3階から5階の3層にまとめ、その中央には自然採光や自然通風のある「エコボイド」と呼ばれる吹抜空間を設けた。

グラウンドの北側は、豊かな緑地帯「ハル先生の森」を設け、騒音や粉塵を防ぎ周辺への配慮をしている。

## 講評

女子校らしい綺麗さと明るさが第一印象である。教育の施設機能の充実だけではなく、校舎の中央に造られた緑の吹抜空間「エコボイド」が、生徒の心理に開放感と潤いをもたらしている。上空から見ると、この校舎はぐくりと中高層アパートで囲まれて建っている。

このような都市部における環境建築化の解決策として、このエコボイドは計画されている。単純な屋上緑化とは違って、多層階の緑化テラスを縦に結ぶ環境調整の役割を持たせることで、建て替えて増築する高層化校舎の問題にも対処している。結果的に、上階教室群のエコボイドを囲むガラス張り通路は、明るさと透明感にあふれ、生徒同士や生徒と教師のコミュニケーションを促す場となっている。そこに集まるお互いの行動は、エコボイドを介して「見る・見られる」関係となつて、学校生活での和気あいあいな雰囲気をつくり出している。

こうした生徒の行動を見据えた教育の相乗効果を緻密な建築計画で造り出した見事さが、この建築にはある。

## 設計者

株式会社日建設計 代表取締役社長 岡本慶一  
〒102-8117  
東京都千代田区飯田橋2-18-3  
TEL 03-5226-3030  
URL <http://www.nikken.jp/ja/>

## 建築主

学校法人中村学園 理事長 中村量一

## 施工者

株式会社鴻池組九州支店 執行役員九州支店長 渡津弘己

## 用途

中学校、高等学校

## 構造規模

鉄骨鉄筋コンクリート造等地上6階地下1階建て



撮影：西日本写真福岡 河野博之



撮影：西日本写真福岡 河野博之



撮影：西日本写真福岡 河野博之



撮影：西日本写真福岡 河野博之



撮影：西日本写真福岡 河野博之

## 住宅の部

地中の棲処<sup>すみか</sup>

所在地：福岡市中央区

## 設計趣旨

計画地は都市の中心部の傾斜地にポツリと残された地山の斜面であった。急傾斜で大変厳しい敷地条件だったが、その地山の持つ力強さと恵まれた眺望を生かしながら、半地下状の住宅を計画した。

建物は、斜面の土留め擁壁を兼ねた構造体を地中に埋め込むことでできており、掘った空間をそのまま居室としている。外壁は、斜面と同色の土で仕上げられており、現在は緑も生い茂る事で、斜面にトけ込んだ自然の風景をつくっている。

熱しにくく冷めにくい大地と一体化した建物は、エアコンを持たず、躯体の温度の調節のみで室内環境を作っている。躯体表面にはセラミック粉末混入塗料を塗り、遠赤外線との共鳴で躯体温度と身体の放射環境をコントロールしている。

## 講評

穴を掘って棲むという住居の原型を見るような生活感にあふれる住宅である。

建て主が探し出した急斜面の敷地に対して、建築家が設計の技術で挑戦する画期的な意義を感じる。半地下空間と屋上庭園が段状に連続する空間は、3人の子育て中の家族から提案された土足生活を実現したものという。訪れるものには、日本の都市住宅では既に失われてしまった、内部でも外部でもないような土間のある民家の郷愁を感じさせてくれる。

また、現地審査員の「エーゲ海を望む住居を思い起こす」という感想もまた同様の評価であろう。急斜面地の利点である眺望は期待通りに素晴らしく、連なる庭園にはハーブの花を咲かせている。

心配される室内環境の湿気問題は、放射冷暖房と自然通風がよく機能していて、エアコンの必要性を感じないとのこと。なによりも、土に親しむ住まい手の楽しそうなライフスタイルの語りから、この住宅の際立つデザイン性を証言している。

## 設計者

株式会社SUEP.

代表取締役 末光弘和 代表取締役 末光陽子  
〒810-0001 福岡市中央区天神4-8-2-3F

TEL 092-600-8653

URL <http://www.suep.jp/>

## 建築主

個人

## 施工者

株式会社黒木建設 代表取締役 黒木義彦

## 用途

一戸建ての住宅

## 構造規模

鉄筋コンクリート造1階建て



撮影：中村絵



撮影：中村絵



撮影：中村絵

# 奨励賞

一般建築の部

和白青松園

所在地：福岡市東区

設計者

株式会社環・設計工房 代表取締役 鮎川透

〒815-0033

福岡市南区大橋2-2-1

TEL 092-561-6160

URL <http://www.kanarc.jp/>

建築主

社会福祉法人福岡県社会事業団 理事長 小川弘毅

施工者

大高建設株式会社 代表取締役 大木孝一郎

用途

児童養護施設

構造規模

鉄筋コンクリート造一部木造1階建て

## 設計趣旨

もともとは終戦後、海外から引き上げてきた子どもたちを保護するために開設(昭和21年)された施設で、現在は児童養護施設として子どもたちの生活の場となっている。

施設の老朽化とともに、これまでの大部屋での団体生活(大舎制)から9~10人の家族的生活(小舎制)への移行が大きなテーマ。

ゆとりある敷地条件を生かすとともに既存樹木(桜・松)を残すために、居住棟四棟とセンター棟を分散配置し、相互を木製の渡り廊下でつなぎ適度な距離感を持つ配置とした。

食事はセンター棟からの配食によるなど、普段はそれぞれのユニットで完結するが、卒園式等イベントの時には全員が集うホールでの相互の交流も行う。またグラウンド・体育館の開放や地域連携センターでの子育て相談などの、地域との連携にも努めている。

## 講評

築45年の児童養護施設を建て替える福祉環境のプランニングが大きなテーマとなっていて、豊敷き大部屋の大舎制からグループ単位の小舎制への切り替えが実現している。

この計画に伴うユニットの人数組み合わせに1年かけて検討した園と設計者の姿勢が、まず評価されなければならない。

建て替え工事にあたっては、敷地を取り巻く松林を保全して園内の桜並木を残したこと、園児の日常生活を守りながら段階的に建設を進めたことが適切であった。そこには、福祉の建築計画にとって大切な園児たちを育む暖かなまなざしを感じる。

建築的には、広い園内に散在させた平屋コンクリート造の居住空間を木造の渡り廊下で繋ぐ設定が、園児たちの共同生活意識を育てる有効な装置になっていることを評価したい。豊かな自然環境の中で、現代の福祉施設のあり方を根本的に問うた得難い作品である。



撮影：四宮佑次



撮影：四宮佑次



撮影：四宮佑次

ご応募いただきました皆様、  
ありがとうございました。  
福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては、  
福岡県庁ホームページにてご覧いただけます。

#### 住宅の部

小笹の家

所在地 福岡市中央区

設計者 株式会社森裕建築設計事務所

代表取締役 森裕

〒815-0032

福岡市南区塩原4-5-31



撮影: Kouji Okamoto / Techni Staff

#### 一般建築の部

キャナルシティ博多 イーストビル

所在地 福岡市博多区

設計者 株式会社日本設計

執行役員支社長 森浩

〒810-0001

福岡市中央区天神町1-13-2

福岡興銀ビル

株式会社フジタ九州支店

設計部 担当課長 塩田高義

〒812-8568

福岡市博多区下川端町1-1

明治通りビジネスセンター本館



撮影: K's Photo Works / 相川経雄

# これまでの 福岡県美しいまちづくり建築賞

[建築住宅文化賞、美しいまちづくり賞]大賞受賞作品

## 第1回福岡県建築住宅文化賞

昭和63年度 北九州市立美術館

## 第2回福岡県建築住宅文化賞

平成元年度 石橋別邸第一水明荘、福岡医院、花園幼稚園、ビレッジ香月

## 第3回福岡県建築住宅文化賞

平成2年度 松口邸、的野歯科医院、立花の家、グリーンピア八女

## 第4回福岡県建築住宅文化賞

平成3年度 進藤邸、不知火病院"海の病棟"、山田市立山田小学校、福岡ウォーターフロントプロムナード"マリゾン"

## 第5回福岡県建築住宅文化賞

平成4年度 刈田町立図書館、明治学園高等学校体育館、カルタックスおおむた

## 第6回福岡県建築住宅文化賞

平成5年度 田川文化エリア、福岡県青少年科学館、佐田邸(4世代の家)

## 第7回福岡県建築住宅文化賞

平成6年度 茶の文化館、二丈町の家、山笠の家(橋本邸)、西大谷第2団地(市営住宅)

## 第8回福岡県建築住宅文化賞

平成7年度 縄田邸、上陽町立尾久保小学校

## 第9回福岡県建築住宅文化賞

平成8年度 碓井琴平文化館、新宮湊坂

## 第10回福岡県建築住宅文化賞

平成9年度 鞍手の家、太宰府長浦台の家

## 第11回福岡県建築住宅文化賞

平成10年度 瀬高町立図書館・歴史資料館、山村留学ふれあい館(筑穂学舎)

## 第12回福岡県建築住宅文化賞

平成11年度 山田市立下山田小学校

## 第13回福岡県美しいまちづくり賞

平成12年度 めくばーる三輪、青葉台ほんえるふ

## 第14回福岡県美しいまちづくり賞

平成13年度 大野城の住宅、ひふ科いのクリニック、八女市多世代交流館「共生の森」

## 第15回福岡県美しいまちづくり賞

平成14年度 City Cube、篠栗幼稚園

1



2



3



4



5



6



7



8



10

12

13

14

15



## これまでの 福岡県美しいまちづくり建築賞

[建築住宅文化賞、美しいまちづくり賞]大賞受賞作品

### 第16回福岡県美しいまちづくり賞

平成15年度 SHIMA STYLE、渡辺クリニック姪浜、247

### 第17回福岡県美しいまちづくり賞

平成16年度 カルシア小戸ナチュア

### 第18回福岡県美しいまちづくり賞

平成17年度 昭和初期和風住宅の移築プロジェクト、  
西南学院中学校・高等学校、伊田堅抗櫓二本煙突〈景観賞〉

### 第19回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成18年度 TERZETTO(テルツェット)、中村製紙所新社屋

### 第20回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成19年度 須崎の長屋

### 第21回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成20年度 東神原の家、アクア博多

### 第22回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成21年度 ペットと暮らす家[K邸減築工事]、天神MENTビル

### 第23回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成22年度 豊前の家、下川歯科医院

### 第24回福岡県美しいまちづくり建築賞

平成23年度 むさしヶ丘の住宅、築上町火葬場

16



17



18



19



20



21



22



23



24



一般財団法人福岡県建築住宅センターは  
福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として1978年(昭和53年)に設立されました。

また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタートいたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応しながら、県民のニーズに応じてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての業務等を通じて消費者の保護を図るとともに、モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催等を通じて、的確な住情報の提供を行っています。

また、工務店等の技術者に対する研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、併せて建築物等の安全性(定期報告)に関する業務、並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確認・検査・構造審査業務及び、国の登録住宅性能評価機関としての諸業務を実施しています。

## 建築住宅センターの住まいづくりサポート

### 住宅相談

専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談

### 住まいづくり教室

一般消費者向を対象とした住まいに関するセミナー開催

### 住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度

耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣

### 生涯あんしん住宅

在宅ケア対応モデル住宅の展示

the  
25th.  
fukuoka  
prefecture  
/  
architectural  
award  
for  
artistic  
urban  
design

第25回  
福岡県  
美しいまちづくり  
建築賞

賞の部門

●住宅の部

・一戸建ての専用住宅。

ただし、併用住宅で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。

・長屋建住宅及び共同住宅等の集合住宅、街区を形成する住宅群。

ただし、複合用途で住宅の部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。

●一般建築の部

・原則として住宅の部以外の建築物を対象とします。

表彰の趣旨

今年で25回を迎えた福岡県美しいまちづくり建築賞は、福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞、及び奨励賞を授与いたします。

選考委員会:◎委員長 ○副委員長 50音順 敬称略

○大森洋子 / 久留米工業大学建築・設備工学科教授

岡田知子 / 西日本工業大学デザイン学部建築学科教授

菊竹清文 / 情報彫刻家

◎工藤卓 / 近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科教授

田上健一 / 九州大学大学院芸術工学研究院准教授

濱崎裕子 / 久留米大学文学部社会福祉学科教授

藤田中 / 西日本新聞社編集局文化部長

藤田理恵子 / 日本色彩学会関西支部支部長

松本悟 / 福岡県建築都市部次長

三村保始 / 一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長

主催 / 福岡県

協賛 / 一般財団法人福岡県建築住宅センター

後援 / 住宅金融支援機構九州支店

独立行政法人都市再生機構九州支社

福岡県住宅供給公社

社: 福岡県建築士会

社: 福岡県建築士事務所協会

社: 福岡県建設業協会

公益社団法人福岡県宅地建物取引業協会

社: 九州住宅建設産業協会

社: 日本建築家協会九州支部

一般社団法人日本建築学会九州支部

公益社団法人日本都市計画学会九州支部

NPO法人日本都市計画家協会福岡支部

福岡県ゆとりある住まいづくり協議会

表彰式

2013年3月2日(土)

会場 / 九州国立博物館

福岡県建築都市部住宅計画課内 | 福岡県美しいまちづくり建築賞事務局

福岡県庁ホームページ

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/d11/kenchikusyo.html>

お問い合わせ電話番号 / 092 643 3733

2012

design by t. kawachi